

第26回調査 <2000年3月調査>

一～三月景況再び悪化へ

第二六回定点調査の結果がまとまりました。これによると、全般に一～三月の景況は大幅に悪化して再び水面下という状況に戻りました。一般報道のような「景気底入れ回復」との見方とは全く異なった傾向を示しています。売上・利益維持は別表グラフのとおり。

製造業など比較的堅調

一～三月期全般に悪化した中で、製造業、印刷関連、サービス等の業況が比較的堅調を示しています。特に製造業では受注が好転しており、サービス業も今後利益受注が好転する傾向を示しています。

一方、建設不動産は依然として悪い環境にあります。物流運輸も引き続き低迷した業況下におかれています。

中堅規模企業は採算維持

規模別では、一～九人の小規模企業が採算割れ資金繰りに苦しんでおり、これに対して二〇人以上の中堅企業は別表のとおり採算維持のペースを続けています。

採算・経常利益水準			
		1-3月期	4-6月期(予想)
～9人	黒字	24.2%	(18.2%)
	トントン	33.3%	(45.5%)
	赤字	42.4%	(30.3%)
～19人	黒字	23.5%	(29.4%)
	トントン	41.2%	(50.0%)
	赤字	35.3%	(20.6%)
～49人	黒字	46.7%	(53.3%)
	トントン	23.3%	(26.7%)
	赤字	30.0%	(20.0%)
～99人	黒字	63.2%	(47.4%)
	トントン	5.3%	(21.1%)
	赤字	26.3%	(26.3%)
100人～	黒字	70.0%	(50.0%)
	トントン	10.0%	(20.0%)
	赤字	10.0%	(20.2%)

悪化した採算状況

1-3月の採算状況		
	今回調査	(前回調査)
黒字	38.9%	(46.3%)
トントン	27.0%	(30.5%)
赤字	32.5%	(19.5%)

1-3月の資金繰り		
	今回調査	(前回調査)
楽	13.5%	(22.0%)
普通	58.7%	(58.5%)
苦しい	27.0%	(18.3%)

※調査対象 263

有効回答 125

調査期間 2000年4月末